(本號十面)　(明治三十年五月一日第三種郵便物認可)　明治二十六年十二月六日　(定價金二錢五厘)

時事新報

時事新報は毎號十面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價(府外遞送には此他後に掲ぐる遞送料を要す)

一號　貳錢五厘○一箇月　前金五拾錢○三箇月　前金壹圓四拾五錢○六箇月　前金貳圓八拾五錢○一箇年　前金五圓六拾錢○月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ)

●前金　一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返戻する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て勘定する事と御承知被下度候

時事新報遞送料

一　日本國內並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津　一箇月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國　一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋　一箇月　金三拾錢

四　香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲　一箇月　金六拾五錢

五　露領浦潮斯德、清國諸港　一箇月　金三拾五錢

時事新報廣告料(前金)

	一行五號活字廿四字詰	一行ニ付	一日限	一日以上六日迄	七日以上
	一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢	五厘

●廣告料定價　時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる筈なれども取次人の內には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其收次人に對し本社廣告の取次を謝絕する事もあるべき筈に付豫め廣告依賴者諸君に公告す

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を需遞し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を揭ぐるみと寡からず偶り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依賴せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と謂ふる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に達したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

明事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

第三千八百三十一號　水曜日
明治廿六年十二月六日　(丁丑)
舊曆癸巳十月廿九日
月出午前六時三十八分　月入午後四時二十五分
滿潮午前四時三十五分　午後四時十九分
干潮午前三時四十二分　午後四時十二分
(西曆一千八百九十三年)

時事新報

特別修正案に就て

政府はいよ〳〵地價修正案を提出して現在の地價金一億四千萬圓以上一億五千萬圓以下の範圍に於て低減を行ふ可しと明言せり即ち年々の歲入に於て自神武三百七十餘萬圓を減ぜんとするものなり政府は何の爲めに斯る急策を行はんとするものなるや抑も修正の利害は最重の事件に屬するを所なれども政府案の提出に就ては最に騰沸して反對せざるを得ず思ふに修正論の次第に高まり來るは明治二十一二年の頃にして政府が二十二年に爲したる地價金一億三千萬圓を限度としての特別修正も民間に其論の唱しきを察して行ひたるものなる可し當時全國に於ける米價の平均を見るに二十一年は一石に付き四圓三十七錢、二十二年は同五圓五十六錢にして兩年を平均すれば凡そ一石五圓なり此相場にしても租稅の負擔は舊幕府時代に比して決して重きものに非ず唯その前後に農家の難澁したるは紙幣急縮の拙策に由り一時經濟の組織を紊して隨て發生したる奇禍のみ其事情明白なるにも拘はらず朝野の理財家と稱する輩は此邊に心付かずして農民の難澁は租稅の故なりと思ひ漸く政府の心を動かすと同時に民間の有志者は恰も國會の開設に際し民心を籠絡して撰擧の投票を得んが爲めにまず〳〵世間を煽動して遂に地價修正等の問題を成立せしめたるみとなり然るに紙幣急縮の慘毒も歲月と共に漸く消散せんとする折柄、銀價下落の新事情を生じ米價は次第に騰貴して六圓と爲り七圓と爲り現に昨今は八圓臺に上りて今後著しく下落の見込はなしと云ふ全國米の收穫を四千萬石として五圓臺の時に比較すれば今日は農家に一億二千萬圓を利したる割合にして地租の大數四千萬圓なれば假りに五六年前の有樣に立戻りて考るときは一億二千萬の內より四千萬の地租を拂ふて八千萬の礦金あり即ち無稅の上に八千萬圓の餘剩を空中より得たるの實なり斯る事實を見ながら尙ほ其負擔を輕減するの必要あるや政府感なりと雖も此簡單なる物の數を辨ずるの明はある可し或は地價の修正は地租の輕減に異なり其偏重を醫するものにして負擔を減ずるに非ずと云はんなれども全國の地價を一樣平等に平均せしむるは到底望む可きの望に非ず今日偏重と認むるものを低減するときは明日は更に他に偏重の不平を生じて低減又低減際限はあるべからず現に政府が二十二年に修正を行ひたるにも拘はらず今又第二の修正を行ふの必要あるを見るときは更に第三第四の必要に迫るは眼前のみとにして遂に底止する所なきに至るを知るに足る可し然りと雖も租稅の負擔に偏重あるは公平の言に負き施政上の美事に非ずとて强いて修正を行はんとするか前にも述べたる如く今の農民は米價騰貴の爲めに一億二千萬圓を利したるものにして此上に輕減を謀るは所謂富めるに從ぐの譏を免かれざるのみか一億二千萬の大利を利したる者へ僅々三百七十萬の金を進上するを進上し得て三十分の一にも足らず俗に云ふ氣休めとならば何ぞ其偏輕のものを引上げて公平の方針に向はざるや斯くわりてみと當局者の本分を全ふして稍や其老勇の一斑を見るに足る可きのみ要するに地價修正論の如き愚の最も愚なるものにして苟も識見あるものし耳を傾けざる處なるに一國經理の責任ある政府の當局者が輕率にも又臭怯にも之に耳を傾くるのみならず然かも其愚論を採て其實行を期するとは驚き入りたる始末と云ふ可し修正の結果如何は既往の經驗に於て既に已に明白なるにも拘はらず更に其過を再びして將來の弊端を養かんとするを見れば只々眞論の反對に恐縮して國家百年の利害を一時の政略に殉せしむるものと認めざるを得ず政府の本領は果して何くに在るや我輩の吳々も遺憾に堪へざる所なり或は二十七年度以降幸に國庫に餘裕あるを以て之を行ふものなりと云はんか何ぞ思はざるの甚しきや今日の時勢に應じて國家事業の急なるもの一にして足らず國民一般に其着手を希望する所なるに政府は兎角躊躇して無事を謀り一錢金をも愛しみながら却て國庫に餘裕ありと云ふ行政の責任を盡したるものとは云ふ可らず抑も今の當局者が只管民論を怖れて何事も爲さず手を收めて恐縮の外なしと云へば只憐れむ可きのみなれども現在の元老政府は百年の政府に非ず若しも他日眞成の政治家が局に當り大に國事を擴張せんとするの時に際して國家唯一の稅源と賴む所の地租は大に減少せられて事を舉るみと能はず左ればとて低減の覆水盆に歸らずして增稅は容易ならずとの場合に至らば其責任は誰れに歸す可きや今の當局者にして果して辨解の辭あるや否や我輩の今より確に聞かんと欲する所のものなり然りと雖も政府は既に其案を提出したり今更ら責むるも甲斐ある可らず幸に議會の中には眞實に國家の利害を心に關する獨立不偏の士人少なからず今後の成行は其人々に望を屬するの外なきのみ我輩は曾て今の民論の兎角空に走り實際の利害を後にするを見て甚だ憾み少なく思ひたるものなれども今や政府の擧動も亦かくの如し言論道斷、五十步百步の差もあらざれば今日と爲りては寧ろ新鮮なる空氣を政府の地位に注ぎ心身氣力の旺盛なる新政府を見んみとを希望するものなり

雜報

○無政黨員の語氣益す急激なり　倫敦の無政黨員は昨三日の夜に於て其同類デーヴィッド ヨコルの出獄を祝せんが爲めの集會を催はし辯士は最も兇行を敎唆し最も天を恐れざる危言を送うし如何にしても其語氣の向ふ見ずなるを以て流石の聽聞者の中にも折々は唱聲を發したりクラプトーキン及ルーイズ ミシエーは出席を約せしが不參を悔しく思ふ旨、斷りあり其以前はニコルが執業たりし所のコンモンウエルス新聞の發兌者シー ダブルユウ モウブレーは少しも言葉を裝はずに力ずくの革命を主張し「餓死するよりは宜しく鬪ふべし」と斷言したり又同新聞の記者サミエルスは社會共和黨をば見下げ果てたる臆病者と痛罵せしかば聽聞者の中に在りし社會黨は大に不平の聲を漏らしたりサミエルスは尙ほも言葉を換けてグラッドストーン、アスクウヰス(內務大臣)及び其餘の同穴惡黨の一類は孰れも皆、天地の容れざる僞君子なりと云放ち契存あらん者は此演壇に來れ辯解せんとて數回の攻擊に答へたり凡そ眞正の無政黨員たる者は天地間に恐るゝものなく耶蘇基督其人も尙ほ且つ之を劫すに足らず無政黨員は最早や愚弄するみと能はず彼等は漸に弱し風の如く死せんよりは寧ろ戰ふて死す可しと決心せり アルバイテルス フレウンド新聞の記者イアノスキーはシカゴ府の無政黨員を辯護したるシカゴ裁判所を攻擊しニコルは獄中の經驗を陳述して誰にもわれ此聽聞者の中の人が無政主義の爲めに一命を犧牲に供す可き機、今日に在りと大聲疾呼したり數名の擬議は區區にしてありしが唯その場の樣子を書取るのみにて少しも辯士を中止せんとは勉めざりし云々

○英國の請願　機械の輸入を起さんとする由風說する所に訴へ同大臣は及ばしめたり明文を揭げざる早速取消すべしすならんとの

○自治は愛蘭議員を中心公は今邊グラッドス全くグラッドスと共に此問題に價に終るや其默カンセルバンナマンセルバンナマン云ふやう自由黨みに非ずして愛蘭議員を中心所の如何なる不爲めに堪へ忍ん意を示すに猶に見ゆ

○縣會議員、國議會に則るべ樣なれども帝國議會なれば各地方に於て提出せんとの噂なれども此種富山縣輕某氏が漁業稅たる顚末を摘要夫々調査報告の過半數を以て由黨員なれば否やの問題起ら當の眞分を爲す問題のみか地るとは近頃參

○嶋根縣の河川種別の流の幾分費方稅補助の上般の水災にて方の方針を更正

○棉花輸入稅免除　ては今度海外花輸入稅免除一昨日各大臣

○最上川治水　最上川の治水村の負擔なり さんみとを建る が要二十八 餘圓を國稅よ すべき官通驛